

振動可視化システム ～Motion Amplification～

見えない微振動を「見える化」します



- ハイスピードカメラで**3秒間**撮影
- 撮影した映像を**振動増幅・解析**
- ミクロンレベルの振動を**可視化**

- 様々な設備**に対応
- 非接触のため**安全**
- 動画形式**でレポート作成

RDI参考動画はこちらから→





IRIS aiONE™

ベーシックシステム



周波数範囲

通常 0~90Hz

最大650Hz (低解像度、1300fps撮影時)

撮影可能な最小分解能 (参考)

1mの距離から50mmレンズで撮影した場合: 0.25 μ m

アクセサリキット

レンズ3種、専用PC、LED照明、各種スタンド

オプション機能 TrueSight



TrueSight ID	AIによる装置自動認識機能で、モーター・ポンプ・配管などをリアルタイムに検出。手動設定を不要にし、測定の標準化とセットアップ時間の大幅短縮します。
TrueSight Limit	撮影したデータにユーザー定義のアラームしきい値を設定し、超過時に即時視覚通知。
TrueSight Highspeed	フルHDで最大1,400fps、解像度変更で最大29,000fpsの超高速撮影に対応。複雑な機械トラブルの可視化を可能にし、広角撮影と高い周波数取得可能。aiOneとシームレスに連携。
TrueSight Accel	ワイヤレス三軸加速度計を使い、取得した振動データとMotion Amplification®を統合。0.4~15,000Hzの広帯域測定に対応し、動画と同期した高精度診断ができます。 ※専用加速度センサー付属

追加オプション

IRIS CM™

Enhancing Vision

状態監視用サーバー

カメラを定点に置き、状態監視
任意のしきい値を超えると撮影とアラーム撮影
した映像を増幅・解析

アクセサリキット

加速度計、4-20mAセンサー、タコメータ

防爆エリア専用カメラ

※C1D2エリアで使用可能



IRIS M

STEREO VISION

3次元計測用カメラ

周波数範囲

通常 0~90Hz

最大650Hz (低解像度、1300fps撮影時)

撮影可能な最小分解能 (参考)

1mの距離から50mmレンズで撮影した場合: 15.2 μ m



IRIS EDGE™

状態監視現場設置型カメラ

現場設置し、しきい値を超えると撮影
映像をネットワーク経由で転送
MQTT対応、首振りタイプあり

周波数範囲

通常 0~85Hz

最大650Hz (低解像度、1300fps撮影時)

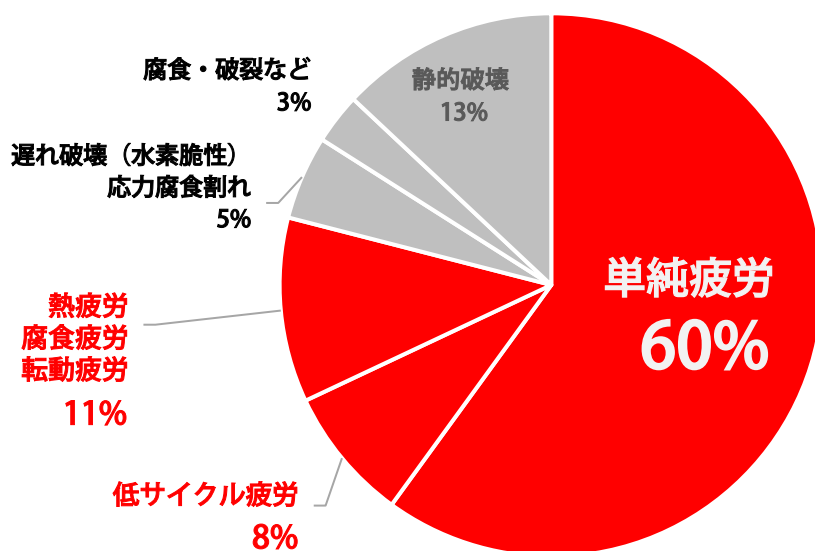


重大事故を未然に防ぎませんか？



予知保全の考え方の基本は、**ビックリ**よりも**がっかり**であるべきである、です。突発事故によって予期せぬ故障を発見することが、ビックリ。損傷を想定して、検査をしてみたら問題がなかった場合が、がっかりです。

世の中で起こる機械・構造物事故の約80%は、**『疲労破壊』**によるものだとされています。



例えば、日航ジャンボ機墜落事故は、後部圧力隔壁の金属疲労
高速増殖炉もんじゅナトリウム漏洩は、温度計さや管の金属疲労が原因でした。

ビックリする前に、**RDI Technologies**の
Motion Amplificationを使って
重大事故を未然に防ぎませんか？

